

年度はじめのご挨拶

2021年5月25日

今年度は、予算総会(本来であれば集会形式)でのご挨拶を書面にてお届けします。

本年度こそは、みなさまに直接ご挨拶できることを願っていたのですが、新型コロナウイルスの影響が今も続いており、このような文面の形で失礼いたします。

様々な心配はありましたが、本年度は、新入生84名を迎え、全校児童 590 名で通常に近い形のスタートができました。もちろん、今後も児童、保護者、学校が一体となり、マスクの着用や手洗い・うがい、換気の徹底など、感染予防を続けていく必要があります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、昨年度から本年度にかけて、PTA 行事がほとんど実施できていない現状があります。しかし、昨年度、本年度の PTA 会長をはじめ運営委員のみなさまは、これを「ピンチはチャンス」と捉え、今まで懸案事項になっていた内容に取り組みられました。PTA の組織改革や活動のスリム化等、みなさまもご存じのことと思います。学校も、感染予防を鑑みながら教育活動を前に進めていきます。

PTA 活動は保護者のみなさまのつながりを深め、学校や地域の連携を育み、子どもたちの豊かな学びを支援することにつながっていくものだと考えています。

今後とも PTA 活動に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

島本町立第二小学校 校長 辻本堅二

前年に続きPTA会長を引き受けさせていただくことになりました、6年生保護者の小林です。今年度もコロナ禍により、子どもたちはイレギュラーな学校生活を送ることになりました。子どもだけでなく大人も楽しみにしていた行事は、そのほとんどが中止・延期になることが予想されます。

手のかかる小学生の間は、長いようであつという間だそうです。成長期の子供たちには我慢を覚えさせるだけでなく、この状況でも自分の事は自分で考え、毎日楽しく健やかに過ごしてほしいと思います。

また、コロナ禍の今、大人にとっても我慢はしんどいことです。前例踏襲になりがちなPTA運営の担い手不足が、深刻になりつつあります。今後のPTA存続のために、今年度も組織・活動の見直しを行いできるだけ簡素化したいと考えています。PTAは、みなさんがいつでも気軽に参加できる任意のボランティア団体であり、PTA活動は、子どもたちが学校生活を安全に過ごせるように支援する事を最優先にしています。

役を担って下さる役員・委員さんだけでなく、みなさんもどうぞ引き続き関心をお寄せ下さい。1年間、よろしくお願いいたします。

島本町立第二小学校PTA 会長 小林麻美子